

JUST NOW

<https://www.shinkin.co.jp/wakashin/>

稚内しんきんの情報は、ホームページでも詳しくお伝えしております。
また、本誌ジャスト・ナウでは皆さまからのお便りをお待ちしております。
身近な話題、取り上げてほしい題材など、お葉書・FAXでもお気軽にお寄せください。

ご自由にお持ち帰りください



Vol.132 CONTENTS

使用済み紙おむつ燃料化施設 **西天北サーマルリサイクルファクトリー** (幌延町)

イベントフリースペース&ハンドサロン **古民家「羽」** (豊富町)

有限会社 **マルタケ** 取締役社長 **竹元 祥**さん (天塩町)

憩いスペース **軽食 Ichi (いち)** (遠別町)

豊富はマンホール、蓋女の聖地か!? **「ガンダムマンホール」** (豊富町)

稚内市立稚内南小学校 教頭 **飯田 毅**さん (稚内市)

日本最北の米どころ **「遠別町のもち米 (はくちょうもち)」** (遠別町)

Cover Photo

豊富町兜沼に佇む
古民家「羽」
(Toyotomi)

今号の表紙は
古民家に暮らす木村夫妻の
イベントフリースペース

●4~5P ズームアップ北



◀西天北五町衛生施設組合
からのお知らせ



破碎した木質チップを乾燥設備へ移送



剪定枝などをチップ化する粉碎機



紙おむつ原料化装置



紙おむつ原料定量供給機と木質チップ供給機



造粒機できあがった混合ペレットを袋詰め

用済み紙おむつの2つの原料から混合燃料であるペレットの製造を開始しました。紙おむつを100%燃料にした例は鳥取県の伯耆町(ほうきちょう)さんが先行していましたが、それに木屑(木質チップ)を混ぜて混合燃料にした試みは全国初のことでした。そんなこともあり、いまなお見学ツアーなどの視察が絶えません。

私たちの理想である「地域の資源を地域で循環させる」このローカルSDGsの取組みが、少しでも他の地域に広がっていくことを願い、循環型社会の構築に向けて、エネルギーの地産地消を目指し、製造した混合燃料を幌延町内にある特別養護老人ホームのペレットに対応したボイラーで使用し、お風呂などの給湯に有効利用しています。ごみだった使用済み紙おむつが燃料として戻ってきている実例です。施設で使用しているA重油の量

も年間で2万2千ℓ削減できました。使用済み紙おむつは五町16の事業所から集められ、専用の機械で破碎・乾燥・滅菌を行っています。事業所だけで年間約140tもあり、現段階では一般家庭から排出される乳幼児用などの紙おむつまでは手が届いていません(二台の機械の処理能力の限界を超えてしまうため)。そのため、使用済み紙おむつ18%のうち、計算では年間約8.4%削減できたというのが正確な数字となっています。剪定枝を含めると、年間170tのごみの削減に成功したことになります。

仮にもし他の4町でもペレットに対応したボイラーシステムを導入することになると、ペレットの生産も現在の63tでは足りないのは明白ですから、近い将来は増産に向けた取組みが必要になるかも知れません。

サーマルリサイクルとは、熱エネルギー



乾燥によって重量が1/3!
紙おむつ原料



太陽熱で自然乾燥!
木質チップ



触れるし臭いもしません!
混合燃料ペレットの完成

ギーを回収するリサイクル方法(廃棄物を処理し助燃材など固形燃料を作り出すこともとらえています)となりますが、混合の割合によっても燃焼力(ロリー)が変わってきます。現在は紙おむつ6・木質チップ4の割合でつくっていますが、ペレットとしての燃焼力(ロリー)は5000kcal/kgとの報告を受けています。過去2年間は試験運用でデータ取得を目的にしていたため、特別養護老人ホームへは無償で提供していましたが、今年度からは料金を徴収するようになりました。

今までごみとして処分していた廃棄物を有効活用して、燃料化することで、ごみの減量化を進めることや、ペレットを使用することで化石燃料の使用量低減を図り、さらにはCO₂の削減効果も見込めることとなります。また、処分場が計画より1年でも長く活用できることが、成果につながるものと考えています。

今後、住民一人ひとりがごみを分別していくことで、今まで以上に減量化が図られ、西天北五町の美しい環境は守られると信じています。

岩川副組合長に聞く
理め立て処分場ひっ迫化の原因の一つが、使用済み紙おむつでした。

西天北五町衛生施設組合は、天塩町・遠別町・中川町・豊富町・幌延町の五町で構成されており、共同で一般廃棄物等を行っている一部事務組合です。組合長には、幌延町の野々村町長が就任しています。

五町から集められた分別収集ごみは、焼却せずに徹底したリサイクル推進によるごみの減量化を目指し、その中であつてもリサイクルできない一般ごみや粗大ごみは、破碎し貴金属類などを取り除いた後、圧縮による減容と飛散防止のためのラッピング処理をして最終処分場(一般廃棄物埋立処分地施設)に埋め立てられています。しかし、最終処分場が満杯になりつつあり、組合でも危機感を持っていました。

組合としても、さらなるごみの減容化を図ることとし、一般ごみのうち使用済み紙おむつが18%も占めているこ

とに着目しました。これは結構な量で、このまま埋め立てていたのでは、すぐに処分場が満杯になってしまいます。そこで、使用済み紙おむつをエネルギー資源としてリサイクルし、それによつて処分場の延命化を図り、ゆくゆくは第2処分場の建設時にもコンパクト化を図られ、初期投資もかなり圧縮できるのではないかと考え平成27年度から検討してきました。

その結果、平成31年度に着工した使用済み紙おむつの燃料化施設、すなわち「西天北サーマルリサイクルファクトリー」が令和3年3月末に完成し、同年4月から本稼働することになりました。

日本社会の高齢化はますます進み、たとえ人口減少が続いても大人用紙おむつの消費量は年々増加している状況にあります。

そこで、西天北五町衛生施設組合では、町の公園や道路を整備する際に出る剪定枝などの木材の廃材と、使

西天北五町衛生施設組合
西天北サーマルリサイクルファクトリー

木質バイオマスを活用した 使用済み紙おむつ燃料化プロジェクト

西天北五町衛生施設組合

西天北サーマルリサイクルファクトリー



西天北五町衛生施設組合
副組合長
岩川 実樹さん(幌延町副町長)

西天北サーマルリサイクルファクトリー
天塩郡幌延町字幌延884番地
☎01632-5-1154
☎01632-5-2234



太陽熱を利用して木質チップを乾燥させるエコな乾燥設備。



西天北五町衛生施設組合エリアMAP

- 施設概要
 - 敷地面積/約0.8ha
 - 建築面積/949.50㎡(3棟合計)
 - 延床面積/934.20㎡(3棟合計)
 - 処理対象物/使用済み紙おむつ、木質系廃棄物(剪定枝等)
 - 工期/2019年6月~2021年3月
- 施設規模
 - 紙おむつ原料化設備
使用済み紙おむつ 170t/年
 - 木質バイオマス保管設備
保管量 58t/年
 - 木質チップ化設備
破碎設備[チップ化] 58t/年
乾燥設備 58t/年
 - 混合燃料化設備
紙おむつ原料 54t/年
木質チップ 36t/年



循環型社会構築に向けた エネルギーの地産地消システム



豊富町発祥の地、兜沼で古民家暮らしの夢を叶えた夫婦。

イベントフリースペース&ハンドサロン 「古民家」羽



築百年を超える素晴らしい古民家を手に入れた木村夫妻

北海道空き家情報バンクなど、空き家の有効活用を通して地方への移住や定住を図る制度をご存知の方もいると思います。試しに道北の住宅をネットで見つけて見ても、ただ単純に「空き家になった古い家」が多く、そのままの状態では快適なスローライフを送れそうな物件は見当たりません。まして腕ききの宮大工が建てたような時間に耐える古民家は皆無。イメージ的には、いつか田舎で古民家暮らしがしたいと憧れの気持ちを抱いている人もきっといると思いますが、見つかるのも至難の業です。なおかつそれを実現するとなると相当な覚悟とパワーが必要となります。

古民家の魅力といえば、柱も梁も丈夫で太い天然木を建材に使用している、天井も高く広々。歴史の重み

が温もりや趣きとして感じられる、そんな家を思い描きますが、まさにその印象通りの古民家暮らしを手に入れた、豊富町在住の木村さん宅を訪ねました。場所は豊富町発祥の地の碑が建つ兜沼で、市街地から車で20分弱かけて到着しました。早速、家の中を旦那さんに案内してもらいました。



足立商店の前掛けをディスプレイ。

康貴さん「ここはもともと足立商店と言う店舗兼住宅で、築109年の古民家です。住まわれていた家主さんが出て行ってしまったことになり、偶然購入できたのです。」

芳恵さん「住むようになって丸2年になりましたが、たまたま私が豊富町役場の兜沼支所で仕事をしていた時に、家主さんが遊びにいられて『家を出るんだけど、もし誰にも譲ることができないなら潰そうと思っ』てとおっしゃるものだから、じゃあ一度見せてくださいと見学へ出掛けて行ったら、主人も私も一目惚れしてしまいました。」

康貴さん「これほど素晴らしい古民家を解体してしまうなんて、町の財産を一つ失うことに等しいと思っ購入させていただきましたが、気持ちの上では継承させてもらったと捉えています。」

この家はもちろん私たち家族の住まいですが、同時にイベントフリースペースでもあるのです。と言っても利益を得るための入場チケットなど、金銭の徴収は行っていません。あく



アイヌ民族の弦楽器「トンコリ」の演奏。



天井の高い素敵なゲストルーム。

康貴さん「民泊も考えましたが、長いコロナ禍の中で見直すことにしました。急ぐつもりはありませんが、そのうちカフェや飲食業なども考えたいと思います。まずは、兜沼にこんな古民家があることを知ってほしいのです。テレビやYouTubeなど

どで見かける古民家はリノベーションして新しく手を加え明るくしたりしますが、ここは一切リフォームしていない貴重な建築物です。一人でも多くの人に見てもらいたいです、ぜひ気軽にパーティなどに参加してほしいと思います。」

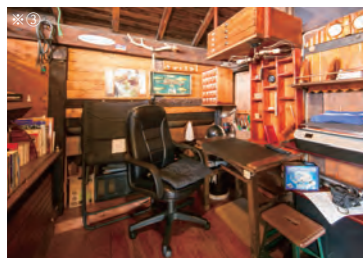
芳恵さん「私は豊富町の出身で札幌で美容師の仕事をしていた時に主人と知り合い結婚しました。2人で豊富に住むようになったキッカケは、それまで建築の現場で働く職人だった彼が、事故でケガを負ってしまい転職を考えたからです。これも偶然ですが、私の父が豊富町の酪農ヘルパー事業に携わっていたことから、もしよかったらやってみないかと。」

康貴さん「専任の酪農ヘルパーとなって、そろそろ20年近く経ちます。まったくの畑違いの仕事でしたが、この町で家族とともに生きるために腹をくくったといえますか。体力的にはキツイ仕事ですが、月給制で、きちんと定休（ローテーションにより）もあり、ヘルパーとしては豊富は恵まれているように思います。」

こちらの部屋はシアター、ハンモック、ボードウォッチング、ペランダでのバーベキューなど多目的に楽しめます。家主さんがルアーフィッシングルームとして使っていた部屋は、ZOOM会議に使っています。」



100インチのスクリーンも完備。



釣り道具が残されているが、釣りはしないとか。

エキゾチックな雰囲気の手造り「羽」豊富町市街や稚内市から通うお客さんも。料金の目安は¥4,000~¥10,000(税込)(カウンセリング、アロマオイル料金込み)



薪ストーブ用の薪は、懇意にされている酪農家さんから格安で購入しているそう。また、学校などで倒木が発生した場合は「木村さん、いる?」と声がかかるとのこと。

足立商店は酒も扱っていたため、倉庫などにもアンティークもののお宝がわんざか眠っている。ビールの本棚も貴重品。正体不明の焼酎銘瓶「君萬歳」は、いまなお謎に満ちたまま。



木村 康貴さん
1978(昭和53)年生まれ、札幌市出身
酪農ヘルパー(専任)



木村 芳恵さん
1983(昭和58)年生まれ、豊富町出身
ハンドマッサージ施術師
美容師免許保有

天塩郡豊富町字兜沼
(天塩警察署兜沼駐在所向かい)



お問い合わせは
Instagramから
DMどうぞ。



通称オロロンラインの最北区間、道道106号。稚内市から約1時間、車を走らせ天塩河口大橋を渡り、右手に見えてくる川口遺跡を過ぎ天塩町市街へ。海岸通から山手裏通を抜けると、まわりの町並みに対しひときわ異彩を放つ重厚な赤れんがの建物が見えてきます。それが天塩川歴史資料館（旧天塩町役場）。2階へ上ると、農業に関する資料が展示され、馬に曳かせて畑を耕したり種蒔きに利用したと思われる古い農機具が展示されていました。いまから125年前の明治31年に開基した天塩町の開拓期の、それこそ斧と鍬で原野・山林を切り拓いてきた先人を思



①小麦畑。春蒔きの品種は「春よ恋」。主にアグリシステム(株)由仁工場へ。秋蒔き小麦「ゆめちから」はアグリシステム(株)芽室工場に出荷されることが多い。②「大正金時」。粒の形が良く、食味が優れていることから、煮豆に最も適した豆。主に旭川の(株)藤井へ。

竹元祥さん

有限会社 マルタケ 取締役社長

証券マンから農家へ転身。酪農王国・天塩でたった一人の畑作に挑む。



③大豆の収穫「とよみづき」
美味しい道産大豆を使った豆腐の原料に。
④小麦播種(はしゅ/種蒔きのこと)「ゆめちから」
道産小麦を使った美味しいパンの材料に。
⑤プラウ(天塩川歴史資料館にて)

えば、簡素に見えても画期的な道具としてこの町の農業を支えてきたのでしよう。後日調べてみましたが、歴史に記録される中で最も基本的な

道具を代表するもの、それがプラウでした。土壌を反転させ新鮮な養分を地表へと運び、作物の残渣(ごんさ)や雑草などを埋め込んで腐食させ、土壌を空気に晒し、より水分を保ちやすい状態にするためにプラウが使われ、碎土してから播種(種蒔き)を行うという考え方は、どんなに機械が進化しデジタル化社会になっても、農業の基本中の基本であることになら変わりありません。

農業振興計画として酪農業の近代化と大型化を図り、天塩町は、酪農酪農地域へと進化していったからです。そんな酪農王国で、たった一人、昔ここで培われていた「畑作」を復活させ、60年振りに畑作新規就農を果たした竹元祥さんを訪ねました。

所有する農地は101ha。東京ドームの約21倍。トラクターの自動操舵なども導入している。

農業は、とてもクリエイティブな仕事。



元来、アウトサイダーだったかも

「大学は情報大。ちょうどリーマンショックが起きた年でしたが、卒業後はIT系には進まず証券マンにもうそのあたりからアウトサイダーですね(笑)。ただでさえ東京も暑いのに、さらに暑い名古屋で勤務をしていた時、たまたま岐阜県の農業視察会に参加したことが、脱サラし故郷で農業をはじめめるキッカケとなりました。

農業王国十勝に学ぶ

「農業を志す者としては誰もが十勝に憧れます。十勝川の恵みと東大雪山系などの火山灰が堆積し、無条件に土壌がいいのかと言えそうですが、百数十年におよぶ先人たちの努力によって土地の肥沃度を向上させてきたことなどが分かりました。開拓者精神と独立心に富む素晴らしい風土もそれと無関係ではないと思います。いまも毎年十勝には視察や勉強に出掛けますが、ことに前田農産食品(株)(本別町)さんやアグリシステム(株)(芽室町)さんにはお世話になると同時に相談したり、アイデアを得るヒントをいただいています。『北海道で農業をやる』ひとくちに言っても何をどこでどう作るか。最初にはトマト栽培に挑戦したいと思いました。ところが、トマトというのは生鮮もので、マーケティング上、一大消費地となる都市の近くでなければペイしません。旭川や札幌の土地の値段を調べてみると、自分の財布でどうにかできる範囲を超えています。じゃあどこでやるか。そうだが天塩川の恵みがあり、肥沃な土地とは言えないけれど十勝だって悪戦苦闘してきた歴史があるのだから、生まれ育った天塩でやろう。そこから私の畑作の挑戦が始まりました。

天塩で唯一の畑作農家になる

「高校まで天塩にいましたから、この町の先輩や仲間からは、よく帰

ってきた」と可愛がられました。それでもみなさんは農業と言っても全員が酪農家です。役場や農協さんも新規就農に関する情報や施策・制度も酪農に関するものばかり。しかも困ったことに、まるで「鶏が先か卵が先か」ながら「農家は農地を持っていないければならない」農地を所有できるのは農家だけ。それはつまり、私は農家になれないことを意味していました。

途方に暮れながらも教育委員会に勤めていた先輩の配慮でしばらくアルバイトをしていました。町教委では地元の子どもたちとふれあう機会もあり、当時出会った小学生が中学生に、さらに高校生となって、現在ではそのうちの何人かが収穫などの繁忙期にアルバイトに来てくれます。『大学生になっても手伝いに来いよ(笑)』と言っているのですが、そんな縁もあって、子どもたちから学校の先生にも『天塩で頑張っている畑作農家がいる』という情報が伝わり、近年は学校での出前授業に伺うようになりました。そうすると授業を受けた彼らが家で両親やおじいちゃんおばあちゃんにも話すでしょうから、町内での認知度も上がってきたような気がします。話は前後しますが、町教委でお世話になっていた頃、役場の新しい農林水産課の担当者が吉

報をもたらしてくることに。『農業生産法人になれば農家にな

れます。農業ができます』と。実は私の父(久さん/2011年故人)は農協職員だったのですが、体調を壊したため退職し、起業していたのです。この「(有)マルタケ」がそうで、肥料と飼料の販売を行い、近郊はじめて十勝清水あたりまで顧客を抱えていました。父の死後、定款を書き換え会社の目的を変更し、農業生産法人(2017年に農地保有適格法人)となり、ようやくここにきて畑作農家になることができました。少しずつ農地を購入しながら、小麦(秋蒔き・春蒔き)と大豆、小豆(あずき)、金時豆、蕎麦などを育てていますが、農業従事者は私一人だけですので、上手に機械化や情報化を進め、日々勉強を重ねています。畑作の難しいところは、土壌・肥料・種・農法の改良改善だけではなく、日照時間や寒暖差、雨量など自然が相手だということ。万一台風が温帯低気圧に変わらず上陸すると絶望してしまいます。酪農家は生乳を出荷し毎月入金があり、畜産家は仔牛を買った2年間はお金になりませんがそれを過ぎれば安定的にお金をまかせます。しかし畑作の収入は、年にたった1回だけ。30年やっても30回の経験値しか得られない非常に厳しい世界です。それでも自分の信念に基づき行動した結果ですから、失敗も納得しますし、手塩にかけた収穫の喜びはひとしおです。」

写真は小麦畑。栽培してまもない秋蒔き小麦の「ゆめちから」。この畑は所有地ではなく、酪農家のもの。それを借りて収穫後の麦稈(ばっかん/ロール状にされる)を牛の寝床として利用してもらおうという、畑作・酪農両農家のWin-Win関係を築いている。同時に酪農家にとっては産廃となる牛糞堆肥を畑作用地の肥料として貰い受け、結果的に自然環境保全に役立ち、河川汚染の心配もなくなり、それが天塩特産の「しじみ」、「アキアジ」を守ることに繋がっている。近い将来は、家畜の飼料用に子実コーンを育て、転作・輪作体系の営農スタイルを築きたいと。

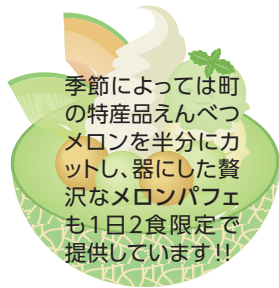
Company Profile

農地所有適格法人 有限会社 マルタケ
 天塩郡天塩町山手裏通4丁目20番地 ☎01632-2-1430 ©01632-2-2053
 ■目的/農作物の生産・調整・加工 肥料・土壌改良材の販売 農業用資材・酪農畜産用資材の販売 配合飼料・単味飼料の販売
 牧場経営業務 農業経営に関する情報処理業務 農作業の受託業務など ■設立/2004(平成16)年7月15日 ■資本金/300万円

Personal Profile

竹元 祥さん
 1985(昭和60)年生まれ。天塩町出身。天塩高校卒業後、江別市にある北海道情報大学に進学。大学卒業後、東海東京証券株式会社に入社。東京勤務を経て名古屋勤務を命じられる。2011年、同社を退職し帰郷。その後、農地所有適格法人となり農業に参入し、天塩町唯一の畑作農家となる。2021年に結婚。

※イラストはイメージです。



季節によっては町の特産品えんべつメロンを半分にカットし、器にした贅沢なメロンパフェも1日2食限定で提供しています!!



チョコレートパフェ

ブルーベリーパフェ

7月中旬～9月下旬まで

ママおすすめ

パフェ(チョコレート/ブルーベリー)各¥650

シルキーでなめらか。甘過ぎない生ソフトクリームが美味しい!



揚げたて熱々

カツカレー¥850/カレーパン1個¥220

野菜や肉類の具材がすべて溶け込んだルー。食べ応えも充分。



ダンが決め手

かきあげそば¥600/山菜トッピング¥100

昆布・鰹節のバランスがイイ!最後まで食べ飽きない満足一杯。



軽食 Ichi(いち)
ママ 佐々木 幾代さん

住 天塩郡遠別町字本町2丁目93
国道232号沿い南ササキ機械向かい
☎ 01632-7-2015
☎ 090-1646-5354
営 11:00～16:00
休 土・日・月・祝日
席 20席
P 店舗横に2カ所完備(8台)



※表示価格は消費税込み

コロナ禍を経て今後を考える
「遠別のお年寄りの方をはじめ町内のみなさんが、気軽に集える憩いの場を提供しようと思いい、平成29年8月にオープンしました。期待通り、当初はお年寄りのグループや主婦や小さなお子さん、学生さんにもよく利用していただきましたが、コロナ禍ですっかり様変わりしてしまいました。現在は午前11時から

午後4時までの短い時間で営業を行っていますが、定休日も含めて来年からはもっと利用しやすい店になるよう計画しているところです。」
麺類、ご飯もの、カレーも好評
「食べものやお飲みものも特別なものは何一つありませんが、オーソドックスな味ゆえなのか、おかげさまでどれも好評です。特に麺類はおダシが美味しいと

よく言われ、揚げたてのカツカレーやカレーパンも評判が良くて。テイクアウトにも対応しています。」
可否茶館のコーヒーを提供
「コーヒー豆は可否茶館(カヒサカン)の飲みやすく美味しく深いブレンドを使用しています。少々宣伝になるかも知れませんが、天塩町のアサヒ飲料さんの『マスカットサイダー』も

とても喜ばれています。」
遠別のメロンを使ったパフェ
「夏季限定でご予約いただきますと、『えんべつグリーン』と『マルセイユメロン』を使ったメロンパフェをお楽しみいただけます。一つのメロンを横に半分

妙に落ち着く、茶と黒を基調とした店内。



レトロな店の入口。



隣の天塩のローカルサイダー。アサヒ飲料のマスカットサイダーをIchiで楽しむことができます!

Drink & Foods

- コーヒー、アイスコーヒー、オレンジジュース、トマトジュース、ウーロン茶、コーラ・ファンタ、マスカットサイダー各¥300
- かき氷¥300 ■ 生ソフトクリーム(カップ入り)¥350 ■ フロート(コーラ・コーヒー・マスカットサイダー)各¥500
- かけ、もり(うどん・そば)各¥500 ■ 月見(うどん・そば)各¥550 ※麺類トッピング/たまご¥50、かきあげ・山菜各¥100
- 焼飯(しじみスープ付き)¥600 ■ 豚丼¥850 ■ 中華丼¥650 ■ 牛丼¥700 ※各丼物は汁物・漬物付き
- あんドーナツ1個¥200 ■ フライドポテト(皮付き)¥250 ■ からあげ(大)¥500

マチコミ クチコミ 取材班

噂の店や宿を訪ねて

遠別町市街地に佇む 昭和レトロな喫茶店 憩いスペース「軽食Ichi(いち)」

マチぶら 発見隊



豊富はマンホールや蓋女の聖地か!? 「ガンダムマンホール」を発見!

市街地を歩いてみると必ずといっていいほどよく見かけるマンホール。地下の下水道などの管理を目的として、人が出入りするための人孔ですが、その蓋のデザインが地域ごとに工夫を凝らしていることをご存知ですか? 街の歴史や文化、観光名所、特徴などを伝えるものや、最近ではポケモンのマンホール『ポケふた』が全国で展開されるなど、マンガやアニメをモチーフにしたデザイン性の高いものも登場しています。

そんなマンホールですが、なんと豊富町で「ガンダムマンホール」を発見! 早速、豊富町役場の上下水道係を訪ねました。

公務員は町のプロモーター



建設課 上下水道係 山形 雅弘さん

役場に勤務して13年目。その間一貫して町の上下水道事業

に関わってきた山形さん。本人曰く「役場の中で最も公務員らしくないのが私です」とおっしゃる通り、地域の活性化や観光振興に繋がることならどんなことにもチャレンジする勇敢な方です。時には自ら町長を説得したり、近隣市町の仲間にも声掛けを行いプロジェクトを推進する、豊富のプロモーター的存在です。

マンホールが豊富な町、豊富

「豊富町で下水道が運用されたのは平成14年からと遅いのですが、当初からデザインマンホール(住民投票で決定)を設置してきました。マンホールの意匠が町の観光振興事業に役立つと認識したのは、平成29年に札幌チカホ(札幌駅前通地下広場)で行った下水道パネル展に出展した時でした。翌30年には町として初めてマンホールカード(©GKP)を発行し、現在まで豊富では12種類のデザインマンホールを製作(寄贈含む)してきました。自治体としては例外的な多さです。」

「ポケふた」で町をPR

「令和元年には、町の魅力を全国、そして世界へ向けてPR可能なコンテンツとしてポケモンマンホール『ポケふた』(株式会社ポケモン)の寄贈を受け、SNSなどを通じて大きな話題となり、町のマンホール熱はさらに上昇していきましました。」



©Pokémon. ©Nintendo / Creatures Inc. / GAME FREAK inc.

マンホールカードの見本



「ガンダムマンホール」とは?

令和4年に設置されたガンダムについてもお聞きしました。「『バンダイナムコグループ』による『ガンダムプロジェクト』による『ガンダムマンホールプロジェクト』は、全国の自治体と協力し、国内の活性化を図り全国の世代を超えたガンダムファンとの絆を表す取り組みとして、ガンダムデザインのオリジナルマンホールを全国のさまざまな場所へ設置をするプロジェクトです。公式サイトでその企画を知り応募し、寄贈が決定しました。」

2つの「ガンダムマンホール」

「『ガンダムマンホール』の第1弾は、『機動戦士ガンダム』の生みの親である富野由悠季監督の出身地である神奈川県小田原市に決定し、第2弾として全国から5市町が選ばれました。栃木県壬生町(おもちやのまちバンダイミュージアムがある)、神奈川県相模原市(JAXAはやぶさの故郷)、そして私の呼び掛けによって稚内市・豊富町・天塩町が同時に採択されることに。実は、これも私の希望によって実現したのですが、ガンダムの他にジオン軍のドムと合わせて2つつづ寄贈を受けることができました。」

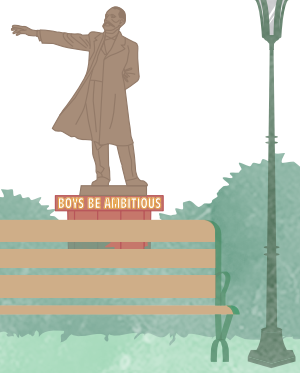
カード発行は3万2千枚超え

「トリオであることがガンダムのキーワードである。黒い三連星や『Nフィールド』を彷彿させるために北海道Nフィールド連合と位置づけ、言い出さすべの私が事務局を務め、3市町合同のイベントをこれまで24回実施してきました。マンホールカードの発行や撮影会、抽選会、グッズ展開、ぬり絵、ガンダムナビアプリにも対応しました。カードは当地でなければ入手できないため、全国からマンホールや蓋女など観光客が訪ねるようになりました。」

北海道の名物先生 & 教育者 2

若者のチャレンジ精神、そして北海道の開拓魂＝
「フロンティアスピリッツ」を示す言葉

「Boys, be ambitious (少年よ、大志を抱け)。
コート裾をはためかせ、彼方に広がる地平を指差す
クラーク博士の立像は、諸問題を抱えた教育環境にも
永遠に希望を与える道民の師であり続けています。
「志は高く、実践は足元から」。
理想と情熱、そして子どもたちへの愛に溢れる
北海道の優れた教員や指導者をご紹介します。



授業風景(稚内中学校時代)



稚内南小学校の校舎全景



同小学校での学芸会の練習

稚内市立稚内南小学校

教頭 飯田 毅さん

宗谷公立学校教頭会 事務局長



- 1976(昭和51)年8月6日、函館市生まれ(47歳)
- 出身校：北海道教育大学函館校
- 教員免許：高等学校教諭一種免許状(英語)、中学校教諭一種免許状(英語)、小学校教諭一種免許状
- 赴任先：香深中学校・船泊中学校(いずれも礼文島)、稚内中学校、中頓別中学校、稚内中央小学校、稚内南小学校
- 趣味：読書(中学生の時、難解と言われる吉川英治の歴史小説を読み始める。愛読書は司馬遼太郎)
- 長所：人の話を最後までちゃんと聞くこと ■短所：思ったことが顔に出やすいこと
- 学校内で心がけていること：いつもニコニコ、笑顔でいること。

**宗谷が大好きな教員として、
地域に根ざした子どもたちを育成したい。
決して優等生ではなかった**

函館で生まれ育ちました。父は薬局・母は病院の事務、妹や叔母は看護師という医療一家でしたが、私だけが道をはみ出してしまいました(笑)。

実は、小中学生の頃の私は勉強が嫌いで成績も悪く、いま振り返ってみてもかなり出来の悪い子でした。友だちも少なく人前に出るのも苦手。クラスの中では目立たない、そんな存在でした。そんな私が教員を目指したきっかけは、英語が好きになったことでした。

英語教諭を目指したきっかけ

中3の時でしたが、いよいよ心配になった母が、知り合いの家庭教師をつけてくれたのです。するとどうでしょう。それまで大の苦手だった英語が俄然おもしろくなってきたのです。私が公立の普通高校へ進学できたのは、その先生がいたから成し得たことだったのです。

しかも高校では担任が英語の先生(3年間受け持ち)だったことが、私の運命を決めたようなものでした。将来の目標は英語の先生になること。中学校の英語教諭に加えて教職課程の単位を増やし、小学校教諭の免許状も取得しました。

金八先生にはなれなかった

教員採用試験に合格し、地元に近い渡島檜山管内を希望していましたところ、宗谷教育局から電話があり、予想だになかった日本最北の離島・礼文島に赴任することとなりました。その当時は、恥ずかしい話ですが、TVドラマの『3年B組金八先生』のように、校内で起こる諸問題を体当たりで解決していき、その熱血教師に心を打たれた生徒たちが、いつも『先生先生』と言い寄ってくる、そんなイメージを抱いていました。現実はずっと

たく違いました。子どもたちの気持ちや保護者の思い、諸先輩方の先生の声も自分には届かず、独りよがりな教員だったと思います。しかも来た当初は島の生活にも馴染めず、ゆくゆくは2校8年の経験を得て他管希望を出し、函館に帰ろう、そればかり考えていたものでした。

地域に根ざした子どもの育成

ところが、その心境が一変し、島が大好きになるまで、さほど時間はかかりませんでした。4年もするともう絶対に函館には戻らない。ここが私の地元となり、香深中学校で7年、船泊中学校で3年お世話になり、教員生活のはじまりを計10年間、

礼文島で過ごすことになりました。その頃のエピソードを二つだけ紹介しますと、船泊中で3年生を受け持っていた時の話なのですが、当時は島の生徒たちは、進学先に札幌や旭川の都市部の高校を希望する者が少なくなかったのですが、私は『礼文高校だってあなたの夢を叶えることができるよ』と可能性を広げてくてもらい、結果として、卒業生全員が礼文高校に進学した経験があります。

島だけではなく、行く先々でますます宗谷管内が大好きになり、地域に根ざした子どもを育てたい、そんな目標を持ちました。**南小に相應しい令和型教育**

その後、稚内中学校を経て中頓別中学校で教頭に。4年前に稚内中央小学校、稚内南小学校に赴任し2年が過ぎましたが、どの時代でも私はつねに、地域のためにがんばる大人に育ってほしい、そのためにできることを惜しまず、同時に子どもを真ん中に置いた指導を心がけてきました。時代が移り変わる中で、不登校やイジメ防止対策、小学校の英語必修化、1人1台端末を利用したITC教育など取り組みむべき課題は山積していますが、今後もこの地域に相應しい令和の日本型教育を南小でも追求し、実践していきます。

年金友の会 各種イベントを開催

稚内しんきん年金友の会ではこの秋、支部ごとにパークゴルフ大会や日帰り旅行、観楓会など、さまざまな催し物を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、団体でのイベントは約4年ぶりとあって、皆さま楽しいひとときを過ごされたようです。当金庫職員も日ごろの感謝を込めまして、会場を盛り上げました。

当金庫で年金をお受け取りになると、楽しい行事が盛りだくさんです。ぜひ、年金のお受け取りは稚内しんきんへ、そして各イベントへの参加をお待ちしております！



パークゴルフ大会(札幌支部)



観楓会(稚内支部)

稚内しんきん 2024年カレンダー完成!

2024年カレンダーが完成いたしました。「守りたい故郷がある。育てたい夢がある。」をテーマに利尻島で未来に向けて働く人々や、大切な資源や産業を守り続けている人などにスポットを当てた迫力の1枚となっております。また、カレンダーに関連した動画をご覧ください。さらに、QRコードも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。なお、こちらのカレンダーは当金庫窓口やATMコーナー等に準備しておりますので、ご希望の方はご自由にお持ち帰りください。

■制作スタッフ
 Photographer 田島睦三
 (Advertising Studio WORK)
 Aerial Photographer 市川範之
 Copywriter 阿野仁志
 印刷/稚内印刷株式会社



しんきんフェスタ開催

9月24日(日)、当金庫本店ビルにて「第13回しんきんフェスタ」を開催いたしました。中央商店街、稚内ポイントカード会、稚内青年会議所の各イベントとの連携をした当イベントは4年ぶりの開催で、現金3億円体験をはじめ、窓口での職業体験、子どもミニ縁日など、盛りだくさんの内容で、好天にも恵まれ総勢約1,000名様に会場いただき終日賑わいました。

これからも、皆さまの身近な存在であり続けられるよう様々なイベントを開催してまいりますので、今後も一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



窓口体験



3億円体験



札勘体験



模擬紙幣つかみ取り



ミニ縁日



全自動貸金庫見学

金融防犯教室を開催

2023年11月8日(水)に当金庫本店にて「交通安全並びに金融防犯教室」を開催しました。本教室は稚内警察署協力のもと、冬の交通安全運動と金融機関を狙った犯罪が懸念される時期を前に防犯意識を高めるために毎年実施しており、防犯対策や危機管理などについての講話や冬道運転における注意点などの説明等を受けました。

当金庫は今後も、安心して明るい地域社会となるよう地域金融機関としての役割を果たしていくことを誓います。



稚内警察署三浦署長の訓話



宣誓をする高橋杏汰さん(営業戦略センター)

稚内信用金庫は中小企業の円滑な事業承継をサポートします!!

■主な取引先の後継者 ※2023年5月~2023年10月 ()は就任年月日

有限会社 ライフサポート (旭川市)
 代表取締役 岩崎 正則 氏 (2023/6/30)

りしりハイヤー 株式会社 (利尻町)
 代表取締役 濱田 一久 氏 (2023/9/7)

丸忠北都清掃 株式会社 (旭川市)
 代表取締役 畠山 佳之 氏 (2023/8/4)

株式会社 利尻生コン (利尻富士町)
 代表取締役社長 中田 悠介 氏 (2023/9/1)
 ※前代表取締役社長の中田 豊喜 氏は代表取締役会長に就任

有限会社 たっけん不動産 (稚内市)
 代表取締役 加地 賢一 氏 (2023/9/21)

HiR 合同会社 (利尻町)
 代表社員 江刺家 堂真 氏 (2023/10/1)

有限会社 長野工業 (稚内市)
 取締役社長 長野 優一 氏 (2023/10/20)
 ※前取締役社長の長野 博一 氏は代表取締役会長に就任

いいもの 見つけた



ザ★プレゼント



カワイイと評判の
遠別町のマスコットキャラクター
「モモちゃん」のシール付き!

プレゼント商品

遠別町のもち米

(はくちょうもち) (3kg)

今回ご紹介した遠別町のもち米(はくちょうもち)を、抽選で5名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、おハガキに「遠別町のもち米」と書き、①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号 ⑥ジャスト・ナウに対するご意見、ご感想等をご記入のうえ下記まで郵送ください。

- 送先/〒097-0022
稚内市中央3丁目9番6号
稚内信用金庫
ジャスト・ナウ編集部行
- 締切/2024年2月29日(木)
(当日消印有効)
- 当選者の発表/商品の発送をもって換えさせていただきます。※3月中旬頃発送予定

読者のお便りコーナー

★初めて手に取りました。「さとうくん」の記事に釘づけでした。先代はすばらしい方でお客様たちもしっかりと教えを守っている理由が知れてよかったです。さすがです。
(利尻富士町・50代女性)

★担当の方が届けてくださる「ジャスト・ナウ」をいつも楽しみにしています。vol.131は懐かしい利尻・礼文の特集であり、熟読しました。特に電気事業に携わる方々のご苦勞に感服いたしました。また、「糠ほっけ」は昔ほどの家の軒下にもぶらさがっていたのを思い出して食べてみたくなりました。
(千歳市・80代男性)

★道産子ですが、稚内方面には一度も行った事がないのですが、ジャスト・ナウを読んでいると行った気がしてきて楽しいです。今後もいろいろな情報をお願いします。
(旭川市・50代女性)

★今回のJUST NOWを拝読し、利尻生まれ礼文育ちの私には大変懐かしく、地域の事業者の頑張りに拍手を送ります。
(札幌市・70代男性)

※一部抜粋して掲載しています。

先人たちの魂を受け継ぎ、築き上げてきた日本最北の米どころ。



「遠別町のもち米(はくちょうもち)」

ぜひ覚えてほしいものです。

たブランド名が浮かぶと思えますが、「はくちょうもち」というもち米の名前も、

ホタテの稚貝や肉厚で食べ応えのあるミズダコ、オーナー制度でも話題を呼んだヒラメなど豊かな水産資源を誇る留萌管内の北部に位置する遠別町。日本海に面しているため漁業の町と思われがちですが、実は農業高校(通称・遠農)を有する農業の町で、日本最北の米どころなのです。緯度でいえば音威子府や枝幸と同じラインにありながらも、この地で稲作が可能なワケは、日本海を流れる対馬暖流の影響によって、農耕期間の積算気温が2500~2900℃と道央・道南に匹敵する温暖な気候だからだそうです。世界的に見ると遠別より北の国や地域でもお米はつくられていますが、それは自生種あるいは陸稲(おかぼ)とのことで、水稲としては世界最北であると言ってもいいのではないのでしょうか。さて、北海道米(うるち米)と言えば、ゆめぴりか、ななつぼしといったブランド名が浮かぶと思えますが、



遠別町役場 経済課 経済課長 小森 正広さん

町役場経済課長の小森さんを訪ねました。★品質本意のもち米「はくちょうもち」 「水稲発祥之碑」と日本最北の水田の碑。遠別には水田にまつわる碑が2つあります。その歴史と開拓者精神を受け継ぎ、今日まで長きにわたって、米どころとしてゆるぎない自信と基盤を築き上げてきました。なかでもお赤飯やおこわにして美味しい「はくちょうもち」は、遠別の特産品の代表格の一つ。ぜひご賞味いただければと思います。ふるさと納税返礼品としても人気があり、現在、もち米生産団地に指定される町内48戸の農業者でつくられています。他にもお餅にぴったりな「風の子もち」、米菓などに向く「きたふくもち」の計3品種を生産し、幅広くニーズに応えています。」

★もち米を使った付加価値の高い商品も 「遠別」もち米の里という認知度を高めるために、これまで、はくちょうもちを使用した純米酒「北吹雪」、米粉からつくったラーメン・うどん・パスタ麺、スイーツなどもあり、道の駅えんべつ富士見で販売中です。」



明治34年、南山仁太郎氏が水稲試験に成功したことを伝える「水稲発祥之碑」。



清川地区に建つ「日本最北の水田」の碑。今回ははくちょうもちもこの場所で生産。



町全体でのもち米生産量は昨年で約4万5千俵。作付面積は東京ドーム約百個分。